

令和 2 年度第 1 回高松市創造都市推進審議会資料

令和 2 年 7 月 2 7 日

提案 内容	議題 (1)	<p>審議会における意見と対応の資料について、9の意見について ユネスコ創造都市ネットワークという点で、国際都市高松であるので、世界中のユネスコ創造都市とネットワークを繋ぎ、それぞれの創造都市の良いところやイベント、まちの在り方などを調査しつつ、ネットワークとなることが、今後、観光の面においても、文化の面においても、教育という、全ての面において発展していくきっかけとなるのではないかと。</p> <p>今後、市においても事業予算については、厳しい状況を迎えると思うので、早めに多くの諸団体や地域活動している人とのもっと深い連携により、多くのパートナーシップで最大限の効果を発揮できるような仕組みづくりを再度考える必要があると思います。</p> <p>成果一覧の資料について 成果一覧の成果ですが、継続事業として今後もとらえるのであれば、成果一覧と課題一覧や引継ぎ事項一覧も両方を検討しながら、今後につなげていくことも重要なのでは？</p>
	議題 (2)	<p>コロナをはじめ、今後ウィルスによる影響や大規模災害が発生した時、今後の都市のあり方にどのような変化が起こるのか、今後の創造都市政策はどうあるべきかについて、都市再生や都市交通、公園緑地や都市防災のほか、教育、観光、医療、企業・行政・諸団体を含む働き方、特に高松に於いては、島も問題も含め、今一度、様々な分野の有識者を含めたヒアリング調査や意見交換を元に、行政の各課との現状と今後の対策を再度見直す機会や新たな準備対応を考えるのも必要ではないかと考えます。</p> <p>果たして、テレワークやオンライン教育、他様々なライフスタイルに変化が起こる中で、今後の危機に対面した時も、即座に私たちにとって誰もが住みやすく・働きやすく・安全安心なまちであるのか？これを追求することも創造都市としての基盤になるのでは？</p> <p>きっと地域の今の課題や問題を上手く活用して、活かせる人・まち・自然・土地・などあると思います。</p>